資料８

２　基本的な視点

子どもと子育て家庭を取り巻く状況の変化を理解して、社会のあらゆる分野における構成員がそれぞれの役割を果たすとともに、相互協力して子どもと子育て家庭を支える必要があります。

本計画では、次の４つを基本的な視点として、子ども・子育て支援の取組を行っていきます。

(1) すべての子どもと子育て家庭に必要な支援を行う

ひとりひとりの子どもの健やかな成長を等しく保障するために、すべての子どもと子育て家庭を視野に入れて、それぞれの状況に応じて必要な支援を行います。

(2) 保護者が子育ての喜びと自己の成長を感じられるよう支援する

子育ての負担や不安、孤立感を和らげることにより、保護者自身の自己肯定感を涵養し、愛情と気持ちのゆとりを持って子どもと向き合えるよう支えるとともに、保護者自身の成長を促します。

子どもの笑顔を育むまち
ね　や　が　わ

(3) 切れ目のない支援を行う

妊娠期から切れ目のない支援を行い、発達段階に応じた教育・保育、子育て支援を提供することで、子どもの健やかな成長を促すとともに、配慮の必要な子どもや家庭を早期に把握し、適切な支援を行います。

(4) 地域全体で子どもの成長と子育て家庭を支える

地域で活動する様々な組織や人々が連携し、子どもや子育て家庭を見守るとともに、子どもや保護者が地域とつながりを持ち、多様な人間関係のなかでの支え合いを感じられる環境づくりを進めます。